

(別紙)

評価細目の第三者評価結果（保育所）

※すべての評価細目（48項目）について、判断基準（a・b・cの3段階）に基づいた評価結果を表示する。

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
I-1-(1)-①	理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	○a・b・c
〈コメント〉 理念や基本方針は明文化され、HPやパンフレット、重要事項説明書にて利用者向けに情報が発信されています。		

I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
I-2-(1)-①	事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	○a・b・c
〈コメント〉 当保育園を運営する法人本部が主体となり、経営を取り巻く環境の把握がなされており、地域の人口や0歳児人口の推移等が分析されています。		
I-2-(1)-②	経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	a○b・c
〈コメント〉 法人の理事会にて経営課題の共有、検討が行われ、その内容は当該年度の事業計画書に盛り込まれています。各職員に対しては、朝礼等の機会に園長から説明されていますが、今後は事業計画書を共有するなど具体的な方法により、職員の問題意識の醸成に努めてください。		

I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
I-3-(1)-①	中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	○a・b・c
〈コメント〉 法人本部を主体として、今後の地域の展望や経営課題を念頭に中・長期の計画が策定され運営されています。		
I-3-(1)-②	中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	○a・b・c
〈コメント〉 中・長期計画を踏まえ、単年度の事業計画書が策定されており、年間の目標や方針、行事予定などが具体的に策定されているほか、園児数の動向等の分析や、今後の方針についてまとめられています。		

I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
I-3-(2)-①	事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a ● b ● c
〈コメント〉 年間の事業計画が策定され、現状分析や今後の計画について十分に検討されています。主となる事業や計画は園長から各職員に通知されていますが、今後は書面での案内等、非正規を含めた全職員の理解を促す工夫や、見直しを行う機会が求められます。		
I-3-(2)-②	事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a ● b ● c
〈コメント〉 利用者に配布する「重要事項説明書」に主な内容は記載されているほか、年度初めなど保護者が集まる場で周知されています。		

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
I-4-(1)-①	保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a ● b ● c
〈コメント〉 外部研修・園内研修の実施により各職員のスキルアップを図っているほか、毎月の職員会議にて保護者からの意見や行事の振り返りを議論し、その内容は各クラスへ周知されています。		
I-4-(1)-②	評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a ● b ● c
〈コメント〉 定期的に園独自のアンケートを実施しており、普段の対応や各種行事の反省点や課題の収集に努めています。今後は、収集した課題のうち重要なものについては計画的な改善策を示すとともに、事業計画へ組み込み、書面として各職員に共有することが期待されます。		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
Ⅱ-1-(1)-①	施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a ● b ● c
〈コメント〉 園長の役割と責任は職務分掌規程にて文書化され、職員会議にて説明されています。また、園児の怪我や災害等の有事における施設長の役割や、園長不在時の対応についても職員に周知されています。		
Ⅱ-1-(1)-②	遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a ● b ● c
〈コメント〉 園長は研修会への参加や他園との情報共有により、順守すべき法令の理解に努めています。また、その内容を園内研修や会議で職員に共有するとともに、保護者にも案内し理解を促しています。		

Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
Ⅱ-1-(2)-①	保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	(a)・b・c
〈コメント〉 園長自らが率先して利用者満足や保育の質の向上に取り組み、各職員にも定期的な声掛けや各種会議を通じ目指す方向性の意思統一が図られています。		
Ⅱ-1-(2)-②	経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	(a)・b・c
〈コメント〉 タブレットやアプリを活用し効率的に業務を行えるよう取り組んでいるほか、職員の配置に余裕を持たせ、働きやすい環境の整備に努めています。		

Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
Ⅱ-2-(1)-①	必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	(a)・b・c
〈コメント〉 必要となる人員体制について計画がなされ、職場の処遇改善に努めることで職員の定着につなげています。また、SNSでの発信等、職員の確保につながる工夫がなされています。		
Ⅱ-2-(1)-②	総合的な人事管理が行われている。	a・(b)・c
〈コメント〉 半期毎に面談を行い、各職員の自己評価に基づき目標を管理しています。今後は昇進、昇格の基準を明文化するなど、職員自らが将来のキャリアを描けるような仕組み作りが期待されます。		
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
Ⅱ-2-(2)-①	職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	(a)・b・c
〈コメント〉 定期的な面談を通じ職員の意向を聞き取り、就業状況の改善に取り組んでいます。また、カウンセラーを配置し、何かあれば個室で対応するなど、相談しやすい環境作りに努めています。		
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
Ⅱ-2-(3)-①	職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	(a)・b・c
〈コメント〉 各職員と面談等のコミュニケーションの機会を設け、目標の設定や達成状況、今後の方針について話し合いがなされています。また、経験に応じた各種研修の割り当てを行っています。		
Ⅱ-2-(3)-②	職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	(a)・b・c
〈コメント〉 経験年数や部門別に各職員が研修を受けています。また、研修の内容は利用者のニーズや時代の変化に合わせ適宜見直しが行われています。		

Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	Ⓐ・b・c
〈コメント〉 本人の希望に合わせ、様々な研修に参加できる機会が確保されており、申請に応じ自由に参加できる体制が整備されています。	
Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。	
Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	Ⓐ・b・c
〈コメント〉 県内の学校と連携し定期的の実習生の受け入れを行っており、受け入れに関する規程が整備されています。	

Ⅱ-3 運営の透明性の確保

	第三者評価結果
Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	
Ⅱ-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	Ⓐ・b・c
〈コメント〉 園のHPにて基本方針や事業内容が公開されているほか、運営する法人の財務状況は独立行政法人福祉医療機構の電子開示システムで公表しています。	
Ⅱ-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	Ⓐ・b・c
〈コメント〉 外部監査の適切な実施に加え、事務や経理の職務分掌と権限は規程に基づき明確にされており、公正かつ透明性の高い経営に努めています。	

Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献

	第三者評価結果
Ⅱ-4-(1) 地域との交流が適切に確保されている。	
Ⅱ-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	Ⓐ・b・c
〈コメント〉 毎月2回、園庭や施設を開放する「ひよこクラブ」や、小学校や老人ホームのイベント参加を通じ、地域との交流を積極的に行っています。	
Ⅱ-4-(1)-② ボランティア等の受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	Ⓐ・b・c
〈コメント〉 職場体験等ボランティアの受け入れは積極的に実施しており、受け入れの際は保護者や中学校へ協力を要請し、連携を取りながら体制を整えています。	
Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。	
Ⅱ-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a・b・c
〈コメント〉 専門機関や市役所との連携は密に取られており、必要な社会資源について十分に把握されています。今後は、それらの情報がどの職員でも活用できるよう、資料をリスト等に明文化し共有できる仕組み作りが求められます。	

Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
Ⅱ-4-(3)-①	地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	(a)・b・c
<コメント> 地域社会で必要とされる役割や機能を発揮すべく、園庭開放や一時預かり事業等の取組を積極的に行っています。また、園庭開放時には来園者とのコミュニケーションを通じて福祉ニーズの把握に努めています。		
Ⅱ-4-(3)-②	地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a・(b)・c
<コメント> 高齢者が多い地域であり、園の餅つきや各種イベントを通じ地元の高齢者と交流を深めています。今後は、地域の防災ニーズにも貢献できるよう、災害時の対応等を行政や地域と協議することが期待されます。		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
Ⅲ-1-(1)-①	子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a・(b)・c
<コメント> 不適切保育を防止するため、子どもの人権に関する研修や話し合いを行っています。今後は全職員に共通の理解を促すよう、勉強会等の計画的な実施が期待されます。		
Ⅲ-1-(1)-②	子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。	(a)・b・c
<コメント> 個人情報やプライバシーの保護に関する規程やマニュアルを整備し、職員間で共有されています。各職員は排泄や着替え等の場面で、子ども一人ひとりのプライバシーの保護に配慮した保育を行っています。		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
Ⅲ-1-(2)-①	利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	(a)・b・c
<コメント> HPにて情報提供を行っているほか、見学希望者には担当者が丁寧に対応しています。また、年間の行事や1日の流れをわかりやすく説明したパンフレットを作成し、見学時に手渡しています。		
Ⅲ-1-(2)-②	保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	(a)・b・c
<コメント> 「利用案内」や「重要事項説明書」に沿って保育の開始・変更にあたり保護者に説明しており、外国籍の保護者には個別で説明を行うなどの配慮をしています。		

Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a b・c
<p>〈コメント〉 保育所の変更の際には、児童表等を用い適切に引き継ぎを実施しています。また、小学校との連携を密にし、卒園生に関する情報交換を行うなど、保育の継続性への取組も十分に図られています。</p>	
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。	
Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a b・c
<p>〈コメント〉 懇談会や行事ごとのアンケートにより、利用者の意見を定期的に収集しています。寄せられた意見は朝礼や会議の場で共有され、対応を協議しています。</p>	
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	
Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a b・c
<p>〈コメント〉 苦情等に対応する責任者が決められており、問い合わせ先を知らせるポスターを玄関に掲示するとともに、保護者に説明を行っています。また、苦情や問い合わせがあった際には書面にて記録し、会議を通じ速やかに職員と共有され、必要に応じ関係機関へ報告されています。</p>	
Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a b・c
<p>〈コメント〉 普段の送迎等、積極的に声掛けを行うことで、相談や意見を述べやすいよう配慮しています。また、他の保護者の目に触れない個室で相談ができる環境が整備されています。</p>	
Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a b c
<p>〈コメント〉 送迎時の対話等で寄せられた要望・意見は園内会議にて速やかに共有され、対応を協議しています。今後は苦情等への対応マニュアルを定期的に見直すとともに、全職員に周知する取組が期待されます。</p>	
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。	
Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a b c
<p>〈コメント〉 安全に配慮した保育について、研修の受講やヒヤリハット、事故報告書の情報共有等、リスクマネジメント体制の構築が十分に行われています。今後は、事故防止策や安全確保策の実施状況や有効性について、定期的に評価・見直しを行う仕組み作りが望まれます。</p>	
Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a b・c
<p>〈コメント〉 設備の消毒等の日常的な対応に加え、感染症の発生時には、速やかに対応できるよう対応マニュアルの整備及び周知徹底がなされています。</p>	

Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a ● b ● c
<p>〈コメント〉 避難訓練は毎月実施されており、緊急連絡先の確認等も適切に行われています。今後は、これらの取組の実効性を高めるために、全職員に対し災害時における自身の役割分担や、避難ルートの再確認が求められます。</p>	

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

	第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。	
Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	a ● b ● c
<p>〈コメント〉 担任が各クラスの月案・週案を作成し、その計画に基づいて保育が行われています。また、それらの計画は随時職員間で共有が図られています。</p>	
Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a ● b ● c
<p>〈コメント〉 朝礼や職員会議の場で内容について協議が行われ、各職員や保護者からの意見を基に評価を行っています。今後は、それらの評価結果から具体的な改善案を策定し、組織的に取り組むことが期待されます。</p>	
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。	
Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に作成している。	a ● b ● c
<p>〈コメント〉 指導計画は、子どもの発達状況や保護者のニーズに応じ適切に作成されており、子どもの年齢や特性を踏まえ、援助の方法や活動の内容が十分に検討されています。</p>	
Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a ● b ● c
<p>〈コメント〉 指導計画は主幹保育教諭を中心に定期的に評価・見直しが行われています。今後は指導計画の評価や見直しを組織的にいき、それぞれの立場から多角的に検証する仕組み作りが望まれます。</p>	
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。	
Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a ● b ● c
<p>〈コメント〉 子どもの発達状況や生活状況は、所定の様式にて把握・記録されており、朝礼等の場面で共有されています。今後は、記入方法の解説や見本を文書化することで、記録内容や書き方に差異が生じないような工夫が求められます。</p>	
Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a ● b ● c
<p>〈コメント〉 個人情報には鍵付きのキャビネットに保管され、厳格に管理されています。また、個人情報保護に関する規程も事前に保護者へ周知され、同意を得ています。</p>	

評価対象Ⅳ 三重県独自基準

Ⅳ-1 地域項目

		第三者評価結果
Ⅳ-1 地域に開かれた施設運営が適切に行われている。		
Ⅳ-1-①	子育て経験者との連携がとれている。	○a・b・c
<コメント> 地元農家への訪問や、地域の住民が参加する祭り等を通じ、子育て経験者を含む地域住民との交流を行っています。		
Ⅳ-1-②	子どもの安全確保について地域との相互協力体制の構築を行っている。	○a・b・c
<コメント> 地域の警察署や消防署と連携した防犯研修の受講等、地域との相互協力のもと安全確保に努めています。		
Ⅳ-1-③	地域の環境保護に貢献している。	○a・b・c
<コメント> 子どもたちに対し、ごみの分別や野菜の栽培を通じ、資源の有効活用や環境保護について学ぶ場を提供しています。		